

ゆた きょうど 豊かな郷土



ぼく わたし たが 伝えたい 山田



ホタテの耳つりちよりつふなこし(山田町立船越小学校)



てい ち あみ たい げん
定置網体験(山田町立山田小学校)



オリンピア(山田町立山田中学校)



せいぶつ ちゆう ぎ
水生生物調査(山田町立豊間根小学校)



い わ て けん り つ
海の運動会(岩手県立山田高等学校)

みんなが未来に伝えたい
「山田」って何だろう。



山田さん一家





小学生たちが伝えたい

近所の川には何がいるかな？ 豊間根中村橋付近



見たことがない生き物がいてびっくりした。きれいな水と汚れている水で川にいる虫がちがうことを教えてもらった。 豊間根小学校4年生

海には何がいるだろう？ 船越漁港しもかわ公園



貝やカニをいっぱい見つけることができた。もっと生き物を探したいと思った。 山田小学校3年生



学んでそなえる (3.11学習会)



講師の方が6年生のときに、実際に経験したことを聞いたので新しく学ぶことが多かった。教えられたことを生かしていきたい。 豊間根小学校4年生



砂浜に生えているのは？ 浦の浜海水浴場

学校で育てている海浜植物より、背が低かったり、葉が厚いのに理由があることがわかった。

船越小学校4年生

山のめぐみを知る (マツタケ授業/給食)

マツタケの他にも山田ではおいしいものがたくさんとれるということを改めて知ったし、誇りに思いました。また山田の食材を使った給食を食べたいです。 豊間根小学校6年生



海のめぐみを知る (漁業体験事前学習)

山田でサケがどのくらいとれるのか、サケをどうやってとるのがわかった。

山田小学校3年生



考えよう 伝えよう 山田町の未来



山田小学校6年生

残したい山田



やまだ
山田ではたくさんの
ことが体験できるね。

大好きな海! 山田湾

砂がさらさらですごくきれい。貝がらがいっぱい落ちていた。海の中がきれいだった。魚がいっぱいいて、むれで動くところが見えてすごかった。
船越小学校4年生

オランダ島に行くときは、みんなでバナナボートに乗っていったので、水しびきがきて大変だったけど楽しかったです。
船越小学校4年生



オランダ島でいちばん楽しかったのは、飛びこみ台から1・2・3で飛びこんだときです。
船越小学校4年生



漁師さんのお仕事 (漁業体験) 山田湾や各漁港



養殖船の見学をして、たくさんのロープがつるしてあるのに驚いた。ロープにたくさんの貝がついていて、すごいと思った。
豊岡根小学校5年生



カキのはさみこみは難しかったけど慣れたら簡単だった。ホタテの耳つりがとても楽しかった。アワビの手入れではからをこわさないよう気を付けた。
船越小学校4年生



山田小学校3年生

網を引くときとても重かった。たくさん魚が入ってすごかった。
山田小学校5年生



山田小学校5年生



中学生たちが伝えたい

～繋げる～

「わだつみ祭」 バック壁画

2020(令和2)年度、統合初年度の全校生徒による創作絵画は、互いに手を取り合い進んでいこうという思いを握手と道で、自分たちの輝く姿を花火で表現しました。

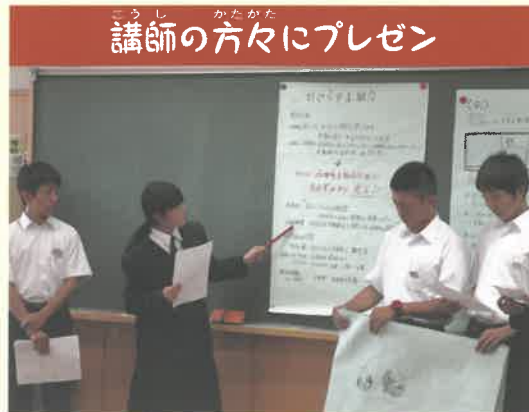
- 2020年、だれも経験したことのない中学校の統合があった。私はとても不安だった。でも、いざ統合したら、みんなが仲良くしてくれたり、助けてくれた。今までの不安は何だったんだろうと感じるくらい山中のみんなが優しくしてくれた。心から感謝している。



統合前 山田中学校

郷土の復興につくす生徒をめざして

2019(令和元)年度の3年生は「ふるさと山田町を盛り上げよう企画～山田をさらに活気ある町にするために～」と題し、観光マップ作成、イベント企画、商品開発・提案を行い、わだつみ祭でも展示しました。



講師から:中学生が自分たちで考えて、実現しようとするその力は、これからの山田町には重要なことなので、このような機会は今後も続けてほしいと思います。

- 提案・発表して終わりではなく、その先を自分たちで考えた方がいいというアドバイスをもらい、これからがんばりたいです。

残したい山田

山田の中学生として、
1人ひとりができることを
考えて活動しているんだね。



豊さん

新生・山田中学校

ねらいは「繋げる」 合唱キャラバン

2020(令和2)年11月24~26日、
3年生が町内の各小学校を訪問、
3年かけて創造してきた歌を披露
しました。

いずれ中学生となる後輩たち
に夢や希望・憧れをもってもらい、
自分たちのような山田生として
誇りを持って人の前に立ち、堂々と
自分を表現できるようになってほしい
という願いを込めて歌いました。



- 継承し続けてほしい伝統が「合唱」です。今年度、私たちは合唱キャラバンで町内の各小学校を訪問させていただきました。そこで披露したのは『名づけられた葉』。葉の1枚1枚に名前は無いけれど、人間には1人ひとり名前がついています。名前があるのだからもっと自分を、個性を出していこうと訴えるその歌は、まさに私たちにぴったりでした。
- 見ている方たちが歌に声に姿勢に感動して喜んでくださったり、涙してくださることの嬉しさは、そのときに歌っていた人にしか分かりません。それを体験できた私たちはとても幸せだと思います。

統合前 豊間根中学校

伝統芸能の伝承活動

地域の伝統芸能「荒川念仏剣舞」「鶏舞」を
受けついできました。

- 町の人びとは剣舞を見ると、私たちにとびっきりの笑顔を見せ、そして大きな拍手を送ってくれた。
- 謡も太鼓も全部生徒。衣装の着付けも代々引きついで。父や母が昔使用した衣装を身につけ、鶏舞の踊りと心を受けついできた。

ボランティア活動

地域に根付いたボラ
ンティア活動に力を入れ
ました。

【活動の例】

- ジュニアヘルパー
(高齢者へのお弁当宅配)
- 資源回収
- ひまわり学級
(福祉施設での活動)
- 雪かき
- 台風被災地での後かたづけ
など

- 笑顔でありがとうと言って
くれるので、とてもうれし
くなりました。
- 障害のある人たちのこと
を知ることができました。
- 1年生のとき、私は3年生に
「ボランティアはいろんな
人との繋がりを作ってく
れる」と言われました。その
先輩も1年生のころの3年
生に言われたそうです。

荒川念仏剣舞



鶏舞



令和元年東日本台風被災地にて





高校生たちが伝えたい。

キーワードは「過去・今・未来×復興・防災」／最終目標は「次の世代へのいのちの大切さを語り継ぐ『語り部』になること」

岩手県立山田高等学校の生徒たちは、総合的な探究の時間を活用して、1学年で「碑の記憶」に、2学年では「復活の記憶」に取り組んでいます。

「東日本大震災のとき、過去の教訓はなぜ活かされなかったのか」この疑問から生まれたのが岩手日報社の「碑の記憶」です。生徒たちはこの連載を読み、明治～昭和初期の岩手日報社記事、町内に残された先人の想いをつなぐ石碑、そして語り部から聞く実体験を題材として探究を重ねました。

「復活の記憶」では、先人の想いを学んだ生徒たちが気づいた「ふるさととはどのように復興しつつあり、そして、どのような課題を抱えているのか」という問いから、町の軌跡をたどり、水産業や観光資源に目を向けた探究が行われています。



残したい山田

みらい 未来へ伝えるために、いろんな
つた 努力をしているんだな。

オランダ島で学び、オランダ島について考える



「ふるさとの復興のようす」「ふるさとが抱える課題」について探究を続けました。



「碑の記憶」の取り組みでは、学びを深めるアウトプットとして「新聞づくり」「Google my maps制作」を行いました。

活動のまとめと発表の準備



総合的な探究の時間発表会





未来へ伝えたい山田



きれいな景色だね

小学生が撮影した「山田」

「山田の魅力発見!」リーフレット⑭～⑯を作るにあたって、「伝えたい、残したい山田」という題で子どもたちの写真を募集しました。この2枚の写真は、小学生から見た「伝えたい、残したい山田」です。



オランダ島からみた山田湾
また絶対来たいと思える場所。
撮影:オランダ島



赤灯台と弁財天島
赤灯台と弁財天島と一緒に見れる所がとてもきれい。
見た目がかわいい。
撮影:織笠漁港

伝えたい・残したい、この学び



山田の海に 山田の大地に
育まれ
大人たちを見 先人に学び
友と繋がり
子どもたちは 山田の未来を
紡いでいきます

